

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS KANSAI

しびる

●巻頭対談／近畿の未来
タカラシエンヌから転身した「けんせつ小町」と
「土いじり大好き少年」だった国交省の局長が対談

森 昌文氏 × 小西 恵子氏

●レポート・最前線
洪水を防げ！放流量を高める機能増強工事が進行中

生まれ変わる「天ヶ瀬ダム」

●ザ・プロフェッショナル
工事完遂を目指す志はみな同じ チーム天ヶ瀬ダム

●偉人たちの歴史街道
「土木は利他行」を実践し、民衆から菩薩さまと崇められた僧侶

行基の偉業

●Sho Walker
温故知新のまちづくり「姫路市・姫路城周辺」

●コラム「新しい地域振興の形・ハイウェイオアシス

●ランドマーク
万博記念公園に夢のプロジェクト実現

EXPOCITY & 市立吹田サッカースタジアム

●トピックス／土木のある風景

25 22 21 17 13 11 7 1



土木のある風景

幻の鉄道を大和路に訪ねて

〜五新鉄道と大仏鉄道〜

奈良県五條市に今も残る、江戸の風情溢れる歴史的な建築の数々。約400年前に松倉重政が城下町として建設した五條新町の街並みだ。旧紀州街道の五條新町通りを横切るようにアーチ型の橋脚が突然姿を現し、吉野川の手前でブラックホールに吸い込まれたかのように消えてしまう。明治時代に計画され、昭和12年に着工されたが、戦争などの影響で中断したままとなる「五新鉄道」の夢の跡だ。完成すれば、五條から新宮までの山岳地帯を結ぶ壮大な鉄道路線となった。カンヌ映画祭でカメラドール(新人監督賞)を受賞した映画監督河瀬直美の「萌の朱雀」にもメインテーマとして取り上げられている。

「大仏鉄道」は、JR関西本線の前身である関西鉄道が明治31年に、名古屋方面から大阪への進出を狙い作った加茂駅と大仏駅を結ぶ路線。開業当時、赤いイギリス製の蒸気機関車が、大仏参拝客を乗せて賑わったと新聞にも報道された。客車は小さな箱が10個ほどつながっているような感じで、一両に5人ほどしか乗れないことから人々は「マッチ箱」と呼んだとか。明治32年の奈良駅への乗り入れや路線が木津駅経由に変更となった影響で徐々に乗客が減少、明治40年に廃止された。機関車の車輪を模したモニユメントがある大仏鉄道記念公園や機関車の前照灯や客室の照明用ランプの石油などを保管したランプ小屋(加茂駅)などに当時の面影がかすかに残る。

大仏鉄道



大仏駅跡地を利用した大仏鉄道記念公園



加茂駅近くのレンガ造りのランプ小屋

五新鉄道



吉野川の手前で工事が中断した五新鉄道橋脚



江戸時代の面影を残す五條新町の街並み

発行:



一般社団法人日本建設業連合会 関西支部
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

編集: 広報委員会

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30

大阪建設会館内

TEL.06(6941)3658

制作: 株式会社 廣済堂

平成27年11月1日(年1回発行)